

市職員採用候補者 試験に32名が合格

市の職員採用資格試験は、さる9月23日市民体育館で行なわれました。この試験には240人の受験者がつめかけましたが、厳正な筆記試験と面接試験の結果、採用者候補者名簿に登録された方々はつぎのとおりです。

合格者(順不順)

◎一般事務

- 戸島 一幸(田代町)
- 石田 市子(大館市)
- 田村 金之(田代町)
- 佐藤 和子(〃)
- 田村 金実(大館市)
- 成田 憲之(〃)
- 木村 寛子(〃)
- 佐藤 哲信(田代町)
- 畠山 吉則(大館市)
- 高坂 康悦(田代町)
- 長谷部明夫(比内町)
- 高橋 清毅(大館市)
- 山本 貴正(花矢町)
- 柴田 義人(田代町)
- 小野久美子(花矢町)
- 岩淵 愛子(田代町)
- 中山 吉行(大館市)
- 山本 貢(比内町)
- 長岐 利堅(〃)
- 佐藤 勇(大館市)
- 田山 弘子(〃)
- 田村 純一(〃)
- 伊藤 哲雄(〃)
- 畠沢 良一(花矢町)
- 明石 洋一(比内町)
- 若狭 公悦(大館市)
- 奈良 忠治(〃)
- 織田 修(花矢町)
- 麻戸 稔(大館市)

◎土 木

- 佐藤 修一(大館市)

◎消 防

- 佐藤 幸英(田代町)
- 佐々木 健(大館市)

住みよい郷土づくりに郵便貯金を

郵便局でお預りした皆さんの貯金は、大蔵省資金運用部を通じて各市町村に貸し出され、学校をはじめ道路、橋、病院などの建築事業に使われています。

貯金がふえればそれだけ明るい住みよい郷土づくりになるわけですので、大館郵便局ではこのことを皆さんに理解していただくために「住みよい郷土をつくる郵便貯金増強運動」を展開しています。ぜひご協力ください。



勤労青少年ホームが開館して、はや2カ月もたちました。

開館と同時に、利用を待ちわびていた市内の若人たちがどっと押しかけ、10月末までに282人の青年たちが利用証の交付を受けております。

ホーム内の設備も着々ととのいつつあり、現在、卓球台2台、テレビ、花器、図書、将棋、囲碁などが備えつけられています。

この頃では、職場の昼休みを卓球や読書で過す人たちもふえてきましたし

夜は、演劇とかダンスの集いがひんぱんに開かれ、同ホームは活気に満ちた盛況を呈しています。

勤労青少年ホームは、市内に住所または勤務先を持っている25才未満の勤労青少年であれば、どなたでも自由に利用できることになっておりますので、まだ、利用証の交付を受けていない方がおりましたら、青少年ホームで直接手続きをし、お気軽にご利用願いたいと思います。



④おふろの経済的なわかし方

これからはおふろのわきかたがおそく、さめやすい季節です。

水面にビニールをうかしてわかすと燃料で約1割節約でき、時間にして約10分早い。

また、お湯のさめ方もずっと違います。

戦没者の遺族に対する法律が改正になりました。

該当者は市の福祉事務所に お問い合わせください。

戦没者の妻に遺族年金支給

戦没者遺族援護法も改正になり、戦没者の妻で、昭和27年3月31日以前の再婚者で昭和27年3月31日までの間に離婚または再婚した夫が死亡した場合、その妻に対して遺族年金が支給されることになりました。

戦没者の遺族に特別弔慰金

戦没者の遺族のかたで、前に5万円の弔慰金を受け、昭和40年4月1日現在で公務扶助や遺族年金を受けていない遺族の兄弟姉妹に3万円の特別弔慰金が支給されます。

国民年金

心臓病にも障害年金

国民年金の大幅な改正により、各種年金額の引き上げや、障害の範囲が広がられます。

障害の範囲についてお伝えしますと、39年8月からは結核性疾患、呼吸器の機能障害、精神障害などの内部障害がとり入れられました。

さらに、40年8月からは精神薄弱がとり入れられ、それに今回の改正では、41年12月からすべての障害がとり入れられることにまりました。

新しくとり入れられた障害としては心臓病、かん臓病、貧血症、糖尿病などがありますが、いままでとり入れられていた障害以外のすべての障害ということですから種類としては非常に数多くあるわけです。

したがって、これらの病気で寝たきりの人とか、家庭の起居動作は大体できるが、外へ出られないような人がおりましたら「国民年金係」に申しでもらえるかどうかをよく相談したうえで手続きをしてください。

戦没者の妻に10万円支給

昭和12年7月7日以降に戦傷病者で、特別項症から第5項症までに該当するものの妻に10万円の特別給付金が支給されます。